

安全普及啓発活動例（令和元年度～令和4年度）

※各年度内に申請・開催された事例を掲載しています。ご参照下さい。

令和元年度開催より

事業内容	事業目的	講師・依頼先等
情報モラル講演会	生徒のネット犯罪への被害・加害の防止と抑止	* ネットいじめパトロール隊 /高宮城修氏 * モバイルプリンス/島袋コウ氏 * NTTドコモ/末岡真穂氏 * スクールガーディアン /金城明子氏
学年親子集会でLGBT 人権講演会	児童生徒・教師・保護者へLGBTへの理解と正しい知識の周知	レインボーハートプロジェクト OKINAWA/竹内清文氏
自転車講習会	交通事故多発防止、安全意識への啓発目的	市町村の警察署から指導員を派遣して講話・講習を行った
子育て講演会 (校区内の小学校2校と 中学校1校の合同開催)	幼少期・児童期・思春期において家庭での躰や関わり方について学び家庭教育力の充実を図る。	FT（ファミリートーク）オフィス代表/金子耕武氏
人権教育講演会 「生命の誕生・命の大切さ」	生命の誕生を疑似体験を通して学び、1人1人の存在価値の大切さを学ぶ	* てのひら助産院助産師・誕生学アドバイザー/西平みゆき氏 * 沖縄いのちにエールを送る会代表/知念菜穂子氏
人権教育講演会 「思春期コミュニケーション」	家族や友人に対する感情の向き合い方、感情の意味を知り向き合い方を理解し心地良い人間関係づくりができる力を育む目的	特定非営利活動法人TEENSP OST代表理事/八巻香織氏
フィジカルトレーニング 体験講座・セルフコンディショ ニング講座	けが防止のためにバランスの良い身体づくりの実技指導	* パーソナルスタジオ A・DREAM代表/平田歩氏 * (一社)スポーツおきなわ代表 /大城英稔氏
防災かるた会	防災意識の向上、自分の命を守り周りの人との協力で生き延びる、災害からの復興。日頃の備え等について学び考える目的	市町村の防災協会
「救急法」講演会	水難事故・熱中症予防対策として救急法の知識を持ち、AED・人工呼吸の実技指導	市町村の消防職員
食育講演会	食の大切さ、食育に対する意識向上 「あいうべ体操」の効果・方法を知り健康維持に役立つ知識を得る目的	大分県佐伯市役所まちづくり推進課「食育推進・市民協働係」 統括主幹/柴田真佑氏

事業内容	事業目的	講師・依頼先等
地域と取り組む交通安全対策	子どもの安全を見守るPTA・地域の見守り（啓発横断幕の設置）	*交通指導ボランティア員 *地域ボランティア員
性教育	*思春期の男女の身体の変化について、正しく知り自分や他者を大切に する心を育む。命の大切さや性の尊重 について考え、性被害から自分の身 を守り、いじめの被害者にも加害者 にもしない。 *エイズに関する学習会・レッドリ ボンの取組を学ぶ。	*助産師/吉澤 早苗氏 *助産師/笹良秀美氏
*ネット依存トラブル等に関する学習会・講演 *ネットモラル講演会（zoom講演会）	*生徒のネット犯罪への被害・加害の防止と抑止。 *ICT化が進む中、親もしっかりと学び、親子で話し合い、ルールを決め活用する。コロナ禍に於いて、集う事が難しかった為 ZOOM を活用してWEB開催	*ネットいじめパトロール隊 /高宮城修氏 *モバイルプリンス/島袋コウ氏 *スクールガーディアン /金城 明子氏
実技体験講座	実技体験講座(ココロも身体もかろやかエクササイズ) 感染症対策で活動を自粛する中、体調を整え免疫力を高める為には?をテーマに開催	プライベートスタジオ A-DREAM 代表/ 平田あゆみ氏
キャリア教育講演会	将来への目標・ビジョンを明確に持たせるため、各分野で活躍する先輩方の講話を聴きより身近に感じさせて目標を持たせたい。	*琉球ブルーオーシャンズ /比屋根 歩選手 *地域の職業人を複数招いて各クラスに配置
防災訓練	地震・津波に対する避難訓練、地域と取り組む防災対策	*地域消防団
感染症（疾病予防対策）講習会	感染症予防対策について改めて確認し周知を行う	*沖縄看護協会/稲嶺かおり氏

事業内容	事業目的	講師・依頼先等
いじめ防止講話事業 ～人権を学んでいじめを防ごう～弁護士団	いじめ予防事業では、漠然と「いじめてはいけない」と訴えるのではなく、実際に起こった事件を題材にして、いじめが危険な力を持っていること、いじめが人権侵害であり「絶対に許されない」そしていじめを防止するために、一人一人に何ができるかを児童と一緒に考える。	現場で活躍してる弁護士 (法律事務所3か所)
子ども達の安心安全な美化環境を守ろう！！ ① ハブ対策を中心とした環境教育・実技講習会を行う。 ② ハブ生息につながる雑草の月一回程度の除去作業 ③ 児童・生徒へのハブ注意喚起の動画を利用したの安全教育	わが校は、緑に囲まれた自然豊かな環境ですが、ハブやネズミ、虫たちが生息することにつながっている。ハブの目撃は毎年7～8件報告され、昨年度は運動会の中にハブを発見し駆除する事態となった。わが校は小規模校であり、草刈り等に従事する保護者の母数や必要な道具が少ない。子ども達の屋外活動の安全と学習に集中しやすい美化環境の整備が必須。屋外環境の現状の広報、子ども達へのハブへの注意喚起の教育を行っていきたい。	校内でふれあい農園を主催している方に依頼 ① 実技指導 ② 機材レンタル ③ ハブ対策オンライン講座 活動の広報と協力依頼 → おやじの会を立ち上げた。
1 地域の海でビーチクリーン「ゴミ0運動」を実施 2 「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～」上映会を実施	地域の貴重な自然を子ども達に実感を持って学ばせ、この自然を持続させるために何ができるかを最終的なねらいとして学ぶ。このねらいは、子ども達の家庭や住んでいる地域も一緒になって活動することで達成される。映画を上映し、地域も一緒に視聴することで環境教育の意識がかなり向上すると考えられる。	西表島エコツーリズム協会 本校児童が、アメリカのドキュメンタリー映画「マイクロプラスチック・ストーリー」の日本語吹き替えに選出された。

事業内容	事業目的	講師・依頼先等
LGBT・性の多様性	大規模校の中の児童の一人として、多様な児童の中でも自分らしさを大切にして、お互いの違いを認め合えるような態度に育てる。	*NPO 法人レインボーハート Okinawa 理事長竹内清文氏
命の授業	直接的ないじめと違って目に見えにくく、周りが気づきにくいのも SNS いじめの問題点です。夏休みの間に何らかのトラブルやいじめにあい不登校になる子・・・年々増え続ける未成年の自殺・・・やなえもんさんの目指す4つのゼロのうちのいじめについて、生徒の皆さんにわかりやすく伝えて貰うことで、命の大切さ尊さを学んでもらう。	*やなえもん氏 (team-A)
「もしものために知っておくべき着衣泳教室(服のまま水に落ちたらどうする?)」	あやまって水に落ち、おぼれてしまう事故の多くは衣服を着ている状態で起こることが多い。もしも、洋服を着たまま水の中に落ちたらどうするか。どのように救助を待てば良いのか。救助までに自分でできることは。 親子で安全意識を高め合い水難事故防止につなげる事を目的とする。	*中城海上保安庁職員
学校内の樹木及び雑草の伐採 (高所作業車使用)	危険樹木の剪定及び敷地内の草刈りを行うことにより、危険除去を行うとともに、最適な教育環境を整備する。	*保護者 100名参加
健康・安全についての講演会 「姿勢について」	健康安全教育の課題の一つ「正しい姿勢」の定着が難しい現状の中で、家庭の中でもスマホ、タブレット・PC等を使用する時間が長く姿勢のみならず、視力低下も懸念する保護者の声が多く、子ども達に「今の姿勢が将来の身体づくりに繋がること」を伝えたく、本講演会を計画した。	*ロクト整形外科クリニック 診療運営部門マネージャー 理学療法士